



伊野-INO-

〜やって未来こい！
いのぼ〜る

ENO暮らし2030〜



発行：伊野コミュニティセンター

〒691-0072 出雲市野郷町 492-5
Tel: (0853) 69-1526 Fax: (0853) 69-1530
E-mail: ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

伊野コミュニティセンター
ホームページ



伊野地区自治協会
ホームページ



伊野地区自治協会
Facebook



伊野地区情報発信部会
Instagram



伊野コミュニティセンター
ブログ



一伊野地区の人口ー
(R7.12月末現在)

男性… 519人
女性… 549人
合計… 1,068人
世帯数… 400世帯

赤名交流事業

ゆきんこまつり

1/18

8:00～15:00

参加者(伊野):35名(子ども21名・大人14名)



赤名地域まちづくり連絡会主催で開催された「ゆきんこまつり」に伊野から21名の子ども達と参加をしました。今回は、SNSや個別に呼びかけをして、斐川や松江からのご参加もありました。

まず、屋内でチーム分けのゲームを行い、そのチームでスポンジ積み競争や、すき焼きの具材をジャンケンで揃えていく、すき焼きジャンケンをしました。参加者同士で交流をしながら、楽しみました。

その後、いろいろなミニゲームで遊びました。用意されたゲームは、机上カーリング・ミニボーリング・射的・的あて・千本引き・雪玉ストラックアウトを楽しみました。全部のゲームを回った後は、雪山スプレーをしました。雪山スプレーでは、雪に赤・青・黒のスプレーで絵を描きました。

中でも外でも思いっきり遊んで、お腹はペコペコ。用意してくださった美味しいカレーをいただきました。

イベント当日まで暖かい日が続く、思うように雪が無いなか、色々な工夫をしてくださり、とても楽しい時間を過ごす事ができました。赤名地域の皆さまが、伊野の子ども達にたくさんの雪を見せてあげられなかった。残念。と言っておられましたが、子ども達はとても満足していました。

赤名地域の皆さまには、「ゆきんこまつり」の運営や雪の整備、昼食の用意で大変お世話になりました。ありがとうございました。また、ご参加いただいた皆さまや、ご協力してくださった皆さま、本当にありがとうございました。(スポーツ部)

やって未来こい!通信

続報

11/22

やって未来こい!ネット総会 25名参加

創設から5年を迎えた未来こい!ネット。この度総会を開催し、新たに規約を作りました。そして、新役員体制について承認を受けました。新代表に兼折治加さん(三ノ谷町内・教育部会長兼務)、新事務局長に朝枝尚子さん(西上町内・前地域おこし協力隊)が就任され、これまで7つあった部会を4つに編成し直し、後半の5年間で新体制で臨んでいこうと決意いたしました。



(左から朝枝さん、兼折さん、錦織自治会長)

12/7

ino.ti プレゼンツ!みんなのじかん

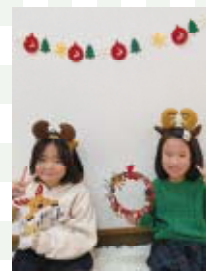
参加者30名

ino.ti~中山間地域の未来へ~の皆さんと一緒に、今年度第2回目の「みんなのじかん」を開催しました。

今回は、12月開催ということもあり、クリスマスグッズ作りをしました。クリスマスリースやオーナメント、小さなクリスマスツリーなどの、色々なワークショップがありました。参加者が作りたいものを好きなように作り、素敵なクリスマスグッズを完成させていました。カイロプラクティック体験や、飲食ブースの出店などもありました。

今後不定期になりますが、こどもも、大人も自分の時間を楽しく過ごせる「みんなのじかん」を開催していきます!お楽しみに~♪

(子育て支援部×ino.ti)



シニアまちおこし隊

4月 ~ 10月

化粧水とたわしづくり 参加者延べ24名



発足から3年目を迎えた今年度は、化粧水作りに加え、ヘチマたわしも販売しました。たくさんの方に購入いただき、ヘチマの可能性が広がっているのを感じることができました。

来年度からは、ヘチマプロジェクトを始動します! 1年を通して余すことなく様々な可能性を秘めるヘチマ!あなたも一緒に作ってみませんか?



(代表 兼折 治加)

よっ得!?伊野いち 農水部会

毎週金、土
9:00~12:00

農水部会が令和2年7月からスタートさせた産直市「よっ得!?伊野いち」は今年で5年目を迎えます。今ではすっかり浸透し、開店と同時に行列ができるのはお馴染みの光景となりました。伊野米をはじめ、地元農家の方が育てた新鮮野菜や海の幸、山菜や笹巻き、しめ縄など旬の食べ物から手芸品まで品々に商品を取り揃えています。

今年もよっ得!?伊野いちをどうぞよろしくお願いいたします。



試食会

12/27

そば打ち体験

農水部会 参加者12名

農水部会主催によるそば打ち体験会があり、地区外や県外からも申し込みがありました。講師は部会長の常松守男さん(大谷)。初めての方も教わりながら立派なそばが完成!一年の締めくくり、今年も上々の手作りそばで年越しを迎えられたようです。



こみカフェ

4月から
毎月第4木曜日

コミセンでは毎月第4木曜日にカフェを開いています。地域スタッフの方の手作りの菓子や漬物、お茶をお供にお喋りを楽しんだり、カードゲームや歌を歌ったりしています。きっと新しい出会いがあるはず!どなたでも気軽にご参加ください!



(健康福祉部)



こみカフェ 番外編

ばけばけバスツアー

11/27

参加者15名

小泉八雲と妻セツをモデルにしたNHKの朝ドラ放送にちなみ、宍道正年氏を講師に迎え「ばけばけ」バスツアーに出かけました。

まずは月照寺。八雲が最も愛したこのお寺は石の大亀で有名です。ところがこの大亀、宍道氏によると実は「亀」ではないそう。耳や牙のある龍だといふから驚きです。みなさんで感心しながら敷地内を巡った後、小泉八雲記念館で八雲とセツの生い立ちや軌跡を知り、その後1時間の座学でさらに詳しく史実を学びました。学んだことを重ね合わせると、ドラマの観方も変わるかもしれませんね。(健康福祉部)



伊野FR隊表彰される

12/14

参加者18名

伊野地区は救急車が到着するまでに15分以上かかる地区です。心肺停止してから時間が経つほど救命率は低下します。そこで救急隊が到着するまでの間に救助者へ一時救命措置を行う組織をFR隊(ファーストレスポnder)と言い、伊野FR隊は2015年12月に発足し、現在46名の隊員が所属しています。FR隊は非常に珍しい組織で全国に4例しかありません。隊員は毎年開催される救命法講習会に参加し、消防署の方から指導を受け、出動に備えています。発足からこれまでの10年間に8件の出動実績があります。そして2025年9月に発生した出動事案は人命救助につながる事案でした。この件をきっかけに、FR隊のこれまでの取り組みが評価され出雲市消防本部長から感謝状を授与しました。隊員の皆さんが毎年講習を受け、誰もがいざという時に行動できるよう知識と訓練を積んできたことが今回の成果に繋がったのではないのでしょうか。

講習会とはどなたでも参加できます。ぜひ皆さんご参加ください。合わせて隊員も募集中です。関心のある方はコミセンまでおたずねください。(伊野地区自治協会)



青パト隊 歳末パトロール

12/24

年末に向けて、犯罪被害および交通事故防止を目的とした歳末特別警戒が県下一斉に展開されます。伊野地区青パト隊も、小学校の集団下校時に合わせて、伊野地区内をパトロールしました。

下校時の子ども達の安全を守るため、現在活動中の青パト隊は、絶賛隊員募集中です!気になる方がおられましたら、伊野コミセンまで。



原子力災害に備えて正しい知識を

1月6日(火)、島根県東部を震源とする最大震度5強の地震がありました。新聞報道によりますと、島根原子力発電所がある松江市鹿島町片匂では、震度3が観測され、2号機では、異常は確認されず、運転が継続されたということでした。

原発事故が発生したときに、どのような対応がされるのか不安に感じている方もあると思います。12月13日(土)、出雲市原子力学習会がありましたので参考にしてください。

原子力災害が発生したら、まずは屋内退避を

『原子力災害が発生した際の伊野地区での対応について』

伊野地区は、島根原子力発電所から半径30km圏内であるUPZ(緊急防護措置を準備する区域)にあります。この区域には松江市、出雲市、安来市、雲南市、米子市、境港市の住民約45万人が住んでおり、原子力発電所等で事故が発生した場合には、放射性物質や放射線の影響を低減するために屋内退避が推奨されます。

放射線量の上昇により30km外に避難も

更に、放射性物質が環境中に放出された後の緊急モニタリングの結果によって、空間放射線量率が一定以上上昇した場合には、避難や一時移転等の防護措置が講じられます。

その際の伊野地区の避難先は、大社地域の荒木地区です。

『屋内退避にあたって注意すること』

建物の窓は必ず閉め、換気扇は止めます。食料品にはラップをし、顔や手洗いを徹底します。衣服の着替えも大切になります。水や食糧品の備蓄があれば安心です。

建物では、鉄筋コンクリート造りが、木造に比べて放射線の低減効果が高いといわれています。

『安定ヨウ素剤について』

安定ヨウ素剤は、原子力災害時に放出が予想される放射性ヨウ素による内部被ばくを予防、低減させる効果があります。決められた量の安定ヨウ素剤を前もって服用することによって、放射性ヨウ素が甲状腺にたまることを防ぎます。安定ヨウ素剤の効果は服用後24時間とされています。UPZ内では、緊急モニタリングの結果、空間放射線量率が一定以上上昇し、避難や一時移転等の防護措置が講じられる際に緊急に配布し、必要な場合には、指示に基づき服用することになります。原子力規制委員会が必要性を判断し、その上で、原子力災害対策本部又は地方公共団体が指示を出すことになっています。年齢が低いほど放射性ヨウ素による甲状腺がん等のリスクが高くなるため、妊婦、授乳婦及び未成年者が優先されます。(伊野地区災害対策本部長 錦織 宏)

地域で育つ学びの輪

参加者10名

出雲市放課後子ども教室支援事業の一環で、伊野在住の中学3年生10名は、夏休みから高校受験に向けて、島根大学の学生に教わりながら毎週水曜日にコミセンにて勉強会を行っています。世代を超えた交流の中で、勉強への意欲を高め、着実に力をつけています。



しめ縄寄贈御礼

原田孝之さん(畑ヶ中)より手作りのしめ縄をいただき、コミセン玄関に飾らせていただきました。ありがとうございました。



コミセン大掃除御礼

12/11



日頃コミセンを利用なさっている団体・サークルの皆様にご協力いただきました。合わせて6年生の皆さんが「日頃からお世話になっている地域の皆さんに感謝の気持ちを伝えたい」と大掃除に協力してくださいました。最後に全員で茶話会をして地域の方と子どもたちが交流を図りました。面倒な掃除もみんなですると短時間でピカピカになります。子どもたちのお陰で楽しい掃除の時間となりました。皆様ありがとうございました。



サークル紹介 ～メンバー募集中！～

伊野を拠点に活動しておられる団体の皆様をご紹介します。空き時間を趣味の時間に活用してみませんか？新しい仲間や出会いの場になりますよ。おたずねはコミセンまで。

● ひまわりの会 (介護予防教室)

月1回
基本 第2水曜日
10時～11時



● パッチワーククラブ

月1回
基本 第1水曜日
9時～11時



● 生花クラブ

月1回
基本 第3金曜日
13時～15時



● フレンドリー (リフォーム作品)

月1回
基本 最終月曜日
9時30分～12時



● ゴンゴズ (自然を楽しむ会)

不定期
概ね月1～2回
1回2時間程度



● 伊野民謡くらぶ (唄、三味線、踊り、 銭太鼓等)

月2回
第1・3水曜日
19時30分～21時30分



伊野ふるさと探訪 Part43 ～番外編～

こほくてんじん 「湖北天神」

普門山圓通寺の境内に天神さんが祀られています。いつ頃建立されたかわかりませんが、神仏混淆のものと思われます。毎年



8月24、25日が祭日で、昭和30年代までは堂ノ本・金森町内の青年団が主催で芝居や露天商がたくさん並び、盛大な夏祭りが開催され、近郷近在より1,500人もの人々が集ったということです。

(郷土誌研究会 常松 士郎)